

広 報
あきた

市民の生活情報誌

合併記念号

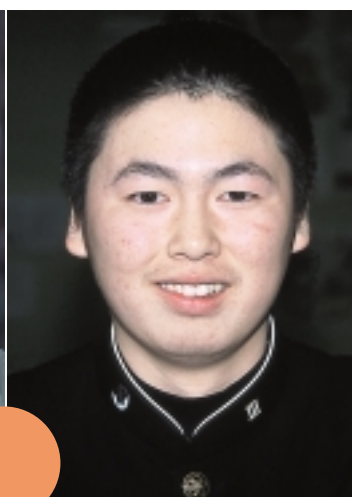
1月は今号のみの発行となります。
2月からは、
毎月1日・16日が発行日です。

2005 平成17年

編集発行 秋田市広報課

1月11日号 NO.1593

秋田新県都秋田市誕生!



合併特集 2

新春 市長ほっとコラム
まちも、人も、一緒だね!
新秋田市 四季の催し
河辺、雄和の皆さまへ

生活 14

市役所からお知らせ
育児コーナー

催し 18

情報チャンネルa

新生秋田市の 大いなる旅立ち

秋田市長 佐竹 敬久



皆さま、新年おめでとうござ
います。いよいよ、市町合併に
よる新しい秋田市の誕生です。

とりわけ、旧河辺町・雄和町
の皆さまにとりましては、慣れ
親しんだ町名がなくなるなど、
変化に若干の戸惑いはあろうか
と存じますが、五十年ぶりとな
る合併であり、地域個性豊かな
新生秋田市の実現に向け、三十
四万秋田市民で、ともに確かな
そして力強い第一歩を踏み出し
ましょう。

大いなる可能性に 満ちた地域資源

緑あふれる
新県都プランの推進

一年半に及ぶ合併協議や住民
説明会などにおいて、市民・町
民、議会の皆さまをはじめとす
る関係各位には、さまざまな場
面で心温まるご協力や高い見識
からのご指導をたまわり、深く
感謝申し上げます。

この合併により、秋田市に秋
田空港が加わることで、陸・
海・空の交通結節点がそろう、
また、太平山の雄大な自然を活
用した観光振興や多様な農業資

源に着目した産業振興、さら
に国際交流の拠点化など大いな
る可能性に満ちた都市になりま
す。これら新たに加わる地域資
源を最大限に活かしつつ、新生
秋田市づくりに全力を注いでい
かなければなりません。

合併後のまちづくりの指針と
もいえる建設計画「緑あふれる
新県都プラン」を着実に推進し
ながら、秋田市のさらなる飛躍
をめざします。

引き継がれる 建都四〇〇年

爆発した市民パワー

昨年は建都四〇〇年の歴史的
節目となる年に当たり、市民パ
ワーが爆発した年でもありまし
た。

七月三十一日、千秋公園での
前夜祭の熱気や、八月一日、ア
ルヴェエでの記念式典に集結した
市民のパフォーマンスと高揚感
は、「あの暑い夏」とともに強
烈に印象に残っています。

また、あつと驚く「け」のポ
スター、普段見慣れた風景が随
所に登場した映画「釣りバカ日
誌」、近いところでは「佐竹本三

秋田市・河辺町・雄和町 合併協定調印式



雄和町



秋田市



河辺町



2004年7月12日、秋田テルサで

十六歌仙」の一部実物展示や「平成版まんが三十六歌仙」の作成、そして年末には四百年の歴史漫画「青山くんの夏休み」の刊行。多くのイベントや記念事業での市民サポーターの活躍も見逃せません。

特に、四百年を機に創作され、小中学生をはじめ多くの老若男女が演じた「新・秋田音頭」は、まさに新たな郷土文化です。この後も各学校や地域で、代々語り継がれていくでしょう。

さて、「歴史を想い、今日を祝い、未来へ遺す」の理念で築きあげてきたメモリアルイヤーは幕を閉じました。夏の日射しが強ければ強いほど、その影は深く濃くなるように、それぞれの建都四百年が皆さまの記憶の中に鮮やかなコントラストを刻み込んだとしたら、私としてはこのうえない喜びです。

今、時代は大変革の中

変革の先にこそ希望が

時代は激しく動いています。そこで今最も大切な時代認識について述べてまいります。

六十年前の大戦終結後の混乱から日本社会は不死鳥のようによみがえり、復興期を経て高度成長経済のまっただ中を突き進み、世界に冠たる経済社会を築

きあげました。

端的にとらえれば、国中がひとつの目標に向かって、全国画一のルール、すなわち中央集権的手法で突き進んだことが、日本の経済社会の再構築を実現させ、効率的かつ短期間に、日本を経済大国に押し上げる原動力になったことは確かなことです。

しかしその後、バブル経済とその破綻を経て、成熟社会、多様化社会へと向かう中で、これまでの社会システムが現代という時代にマッチしないものとなり、さまざま歪みが目立つてきました。

国から都道府県、市町村と縦型に並ぶ中央集権的システムに長く慣れ親しんできたことは、結果的に、自らのことは自ら考えるという地方の思考回路を鈍らせるとともに、依存体質を根づかせたといっても過言ではありません。また、まちづくりや文化などの面においても、それぞれの地域個性を失わせがちにした面も否定できません。

このような中で今まさに、国・地方を通じての大胆な行財政システムの大変革が求められています。それが地方分権の推進であることは誰しもが認めるところでしよう。

また、システムの大変革は政治・行政に限ったことだけでは



市民の手で運営されている旭北地区コミュニティセンター



アルヴェで開かれた秋田市建都400年記念式典

ありません。高度情報化や少子高齢社会、低成長社会などの中にあつて、企業や団体など民間社会では、すでに大変革が進行中なのです。

このような変革期において大切なことは、危機だ、激変だと立ちすくむのではなく、現実を検証し、課題を整理したうえで、目標を定め、一つひとつ計画的にそして具体的に解決していくことです。

日本社会全体が、地域の持つ独自の発想や能力の再評価を求めており、その先にこそ、地域の、ふるさとの希望が見えてくるのです。

地方分権の推進

時代の必然に舵を切る

地方分権というのは、おもに国、県、市の間の権限や財源の配分を見直し、より住民に近いところが権限や財源を持つことです。

今少し砕いて言えば、ひとつは外交や基本的な社会保障など国全体の統一が必要なものを別として、住民生活に密着したものに ついては、国が全国一律に定めている制度を、地方の特色に合わせたものにするために、地方に裁量権や決定権を移すことです。

今ひとつは、いったん国税である財源をプールし、その中から地

方に全国画一的な基準で補助金を出して地方が事業を行うことをやめ、最初から、その分の国税を地方税に移したり、地方全体の共有財源である地方交付税を、それぞれの財政力に応じ適正に配分することです。これにより、地方が主体的に事業内容を選択・構成し、より効率的で市民の満足度の高い仕事ができるようになります。

国と地方との行財政システムを根幹から大変革することは、巨大な船が急激に舵を切ることと同じで、容易なことではありません。しかし、日本と地域社会の新時代に向け、すでに地方分権社会への舵は切られたのです。

市民協働型まちづくり

実現への第一歩

しあわせづくり 秋田市民公聴条例

国・地方とも、財政状況が極度に行き詰まる中、限られた財源で効率的な行政運営をしなければならぬ厳しい現実におかれていま

す。財政的にすべての市民要望にこたえることが不可能な今、徹底した情報公開と市民・行政との幅広い情報交流により、「できること、できないこと」を納得していただくことや、多額な投資を要する市

の事業について、直接利害関係を持たない市民の皆様を検証していただくことなどが、公平な市政運営をしていくポイントとなります。

このような市民との情報交流や市民意見の反映をめざす「しあわせづくり秋田市民公聴条例」が昨年の十二月市議会において議決されました。市民協働型まちづくりを進めるための大切な部分がルー化されたこととなります。

都市内地域分権

身近なサービスは 身近なところで

次は都市内地域分権です。合併によって市域が拡大し、また少子高齢社会がいつそう進み、さらには市民協働が推進されていくと、地域の役割に対する期待もふくらんでまいります。そのため、住民に身近なサービスはより身近な場所を提供するとともに、地域固有の課題は地域で一定程度完結できる体制づくりを進めていくつもりです。

具体的には、土崎・新屋両支所の改築などに合わせ、東・西・南・北・中央の五地域へ(仮称)市民サービスセンターを整備することや、旧河辺町・雄和町役場に設置した市民センターの活用を視野



河辺、雄和の新鮮な野菜や果物を提供している川尻朝市



平和は心の力から生まれます。

に入れています。

これは、おもに市役所と地域との間での行政サービス機能の配置や権限・財源配分の見直しといったもよく、これもまた市民協働型市政推進システムのひとつです。

話題をふたつ

日本興亜損害保険 大規模コールセンター誘致

昨年十月、県とともに誘致を進めてきた「仮称・CRファクトリー」の新屋西部工業団地進出が決まりました。来年四月には二百九十人規模で操業を開始、平成二十二年度までに千二百人規模に雇用量を拡大する計画です。その初期投資額は三十億円以上となります。

本市が誘致したコールセンターはこれで四社目となります。現在すでに三社で約八百人の雇用が創出されており、四社がフ

ル稼働する四、五年後には三千人規模の雇用確保が見込まれます。

ホット・コミュニティ 川尻朝市

旧河辺町・雄和町の農家の皆さんが丹精込めて育てた新鮮野菜や花、果物が、毎月第二土曜日（今年も六月から開催予定）、川尻にある総社神社境内の川尻朝市に並べられています。

ここで特筆すべきは、今やこの朝市は、「作った人の顔がみえる野菜や果物、だから安心」、だけではなく、失われつつあった地域のつながりの復権に貢献していることです。地域住民の発想で始めた朝市がいつの間にか、ゆっくりにお茶を飲んで地域の人と交流を深める、新たなコミュニティの場となっているのです。

今回の合併や市民協働型まちづくり、地産地消と食の安全、そし

て地域コミュニティの未来の姿を象徴しているようで、私自身、とても温かい気持ちになりました。

河辺、雄和、秋田が合併を機に、市民交流の輪を広げ、これまで気づかないで見過ごしていたまちの風景を再発見しながら、心も新たに「しあわせ実感 緑の健康文化都市」の第一歩を力強く踏み出したいと思います。

今年一年、市民の皆さまには毎日のくらしの中で温かな「しあわせを実感する」機会が少しでも多くなることを願ってやみません。

終わりに

世界中で紛争が絶えない今日、何にもまして、平和であることが希望につながる絶対条件です。

昨年末に、東京の人気スポーツ「お台場」で世界各国からの平和のメッセージを記したピースウォール（平和の壁）展が催され、実行委員会から、私にも出展依頼がありました。そのときに出展し展示された私からのささやかな平和のメッセージです。

平和は心の力から生まれます
平和は心の絆から生まれます
譲り合う心が平和の礎です
認め合う心が平和の糧です



“ ヤートセ秋田祭
出場めざして特訓中です！ ”

雄和

川添小学校 ソーラン・キッズ

昨年結成したばかり、現在、41人で活動中。



みんな人も、
一緒にだね。

まちも、

“ 雄和が秋田市の
憩いの場
になってほしいな ”

... 3年生・齊藤亮さん



河辺 岩見三内保育所
もも組のみんな



雄和 大正寺中学校 3年生

今年4月から雄和中学校と統合。
大正寺中最後の卒業生となります。



“ がっぺいってなに？ ”



“ 今よりも活気あふれるまちに！
合併を機に気持ちを切り替えて、
新秋田市の誕生を祝おう！ ”

秋田

合併記念式典の「未来への宣言」
に参加する太田瀬亮さ(御所野学院中学校2年)

“『新秋田音頭』はバッチリ
覚えたよ！ 今度は『河辺
音頭』を教えてあげるね”

河辺 戸島小学校6年生

26人一丸となって、合併記念式典
で「新秋田音頭」を披露します！



河辺 河辺中学校吹奏楽部
昨年、全日本マーチングコンテスト
にも出場した実力校。

“後輩のみんな、合併しても河中
の存在感を演奏で表現してね！”
...3年生・松田郁恵さん



雄和
雄和中央保育所
そら組のみんな



“こんにちは！”

“気持ちは負けないぞ！
目標は大きく、全国大会”

...5年生・鎌田隆馬くん



河辺 河辺柔道スポーツ少年団

東北大会、全国大会にも出場しています。
優勝めざして今日も練習！

“子ども、お年寄り、障害の
あるひと...誰もがみんな住
みよいと感じるまちになっ
たらいいなあ”

秋田

合併記念式典の「未来への宣
言」に参加する遠藤陽香さん
(勝平中学校2年)





“つなぐ”がテーマのオリジナル曲『ジョイン』で、地域の絆を強めます！

河辺 河辺太鼓保存会

結成して15年。メンバーは小学生から大人まで23人。曲のレパートリーも豊富です。



“日本一とっていい豊富なダリアを使った染め物は、雄和でしかできない特産品。雄和から秋田市、そしていずれは秋田県の特産品に！”

雄和 ダリア染め研究会

雄和国際ダリア園がある地元として、全国でも珍しい「ダリア染め」の技術向上をはかっています。



“合併しても、今まで以上に
はつらつと活動します！”
…金俊夫さん

河辺 菜萼野老人クラブ

河辺老人クラブ連合会の金俊夫会長の地元町内。連合会としての今後の活動を一言！

“若い人が農業に目を向けるまち。そんな秋田市になってほしいです”

…小野寺平紀さん



河辺 フレッシュランドまごころ(直売所)

地元で取れた新鮮な野菜、果物などを販売中！
お店は、JR和田駅のすぐ横。4月ごろまでの営業は、毎週金・土・日の午前9時～午後1時。

“これから、まごころ込
めて、河辺・雄和をPR
します！”



秋田 あきた観光レディーの
林舞さん(左)と
吉富あづささん

人も資源も3倍だ！

合併で一句

「元始、人類にはなかった「境」を巡る摩擦は絶えない。今度三つの市町が寄り添う。人々の努力と知恵の結晶が降り積もった真白な雪景色は、美しくまぶしい。」

あめつちに 境目なき景 深雪晴



“子どもたちには、3つの輪が重なったという視点で、合併を見てほしいです。まちや自然も含めて、ふるさとと呼べる範囲が広がったというプラス志向で”

秋田 自然観察指導員の鎌田和子さん
太平山自然学習センター「まんだらめ」などで、おもに子どもたちの自然学習のお手伝いをしています。

雄和



超雲吟社代表の佐藤綾子さん

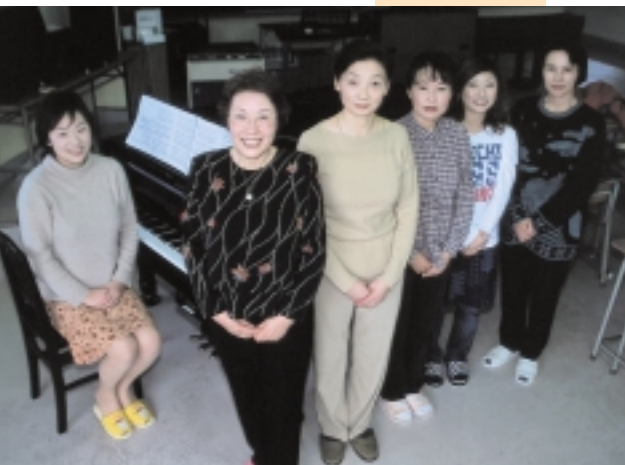
俳人としても名を残す先覚者・石井露月の故郷にあって、伝統ある雄和俳句の魅力を広く伝えています。



“将来は語学を教える仕事がしたいな。でも、まずは秋田のことをもっと知るために地域との関わりを大切にしたいです”

雄和 国際教養大学1年の福田絵里子さん
(山口県出身・右から2人目)

“合併して発表の場が増えれば、私たちのサークルも大きく飛躍できるかな” ...高橋敏子さん



河辺 中央コーラス

平成3年に発足し、現在のメンバーは15人。いつも和気あいあい、楽しみながら歌っています。

“地域の問題を出し合って、みんなで考える。身近で困っていることを手助けするのが私たちの役割。住んで良かったと思うまちづくりが目標です” ...酒井善重郎さん



雄和 平尾鳥わくわく協議会

雄和の平尾鳥地区のさまざまな分野の人たちが参加しているグループ。「高齢になったり障害をもっても、安心して暮らせる仕組みづくり。誰もが生きがいをもって暮らす地域づくり」がモットー。

河辺・雄和が加わって、ますます豊かな秋田市の四季。自然がいっぱい、行事も増えて楽しさ3倍！季節ごとの秋田市の魅力をまるごと味わおう。



河辺・伏伸の滝



秋

9月

上旬 高尾山祭り(雄和)
 14・15日 山王八幡祭(八橋・日吉八幡神社)
 中旬 きのこ採りシーズン到来

10月

上旬 雄和花木農園でぶどう狩り
ゆうわ「華の里」秋祭り



ダリアや孔雀草が真っ盛り。植木盆栽祭りや焼き肉パーティーなども開催。

中旬 健康のつどい(八橋運動公園ほか)
 太平山リゾート公園や大滝山自然公園(上新城)、へそ公園(河辺)などのなべっこが楽しい季節



下旬 紅葉の美しい季節。水心苑(金足)や岨谷峡(河辺)などが格別

11月

中旬 初雪(平年は12日)



冬

12月

上旬 12月～2月の酒造り「寒じこみ」が始まる。3月ごろには新酒ができてあがります
 下旬 太平山スキー場オーパスオープン

1月

第2月曜日 新成人のつどい(市立体育館)
 15日 火振りかまくら(仁井田)
 鳥追い(河辺・赤平)
 15日ごろ やまはげ(豊岩、下浜)
 17日 三吉梵天祭(広面・太平山三吉神社)
 下旬 岩玉神社の山車奉納(河辺・台)

秋田・河辺冬まつり



2月

第1日曜日 **童っ子の雪まつり**
 (八橋運動公園)
 上旬 **雄和の雪まつり**
 (ゆうわ華の里)

中学生以下は無料です

千秋美術館

アトリオン内 tel(836)7860
 開館時間 午前10時～午後6時
 常設展観覧料 大人300円、高・大学生200円

佐竹史料館

千秋公園内 tel(832)7892
 開館時間 午前9時～午後4時30分
 観覧料 大人100円、高校生50円



久保田城御隅櫓

*御隅櫓は3月31日まで冬期休館

赤れんが郷土館

大町三丁目 tel(864)6851
 開館時間 午前9時30分～午後4時30分
 観覧料 大人200円

民俗芸能伝承館(ねぶり流し館)

大町一丁目 tel(866)7091
 観覧時間 午前9時30分～午後4時30分
 観覧料 大人100円



大森山動物園

オープンは3月19日(土)！
 大森山公園内 tel(828)5508
 開館時間 午前9時～午後4時30分
 入園料 大人500円
 (年間パスポート1,200円)

秋田 河辺 雄和 で 楽しさ 3倍!! 秋田市歳時記

千秋公園

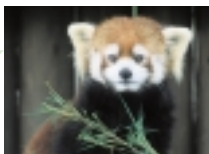


春

3月

20日 岩見川(河辺)で溪流釣りが解禁
下旬 大森山動物園オープン

今年のオープンは3月19日(土)だよ!



4月

上旬 へそ公園(河辺)オープン
12・13日 星辻神社だるま祭り(大町一丁目)
中旬～下旬 お花見...千秋公園・和田公園(河辺)など



新屋大川端



下旬 梅林園(浜田森林総合公園)で梅の花が見ごろ
山菜採りシーズン到来
下旬～5月上旬 ゆうわ「華の里」スプリングフェア
花と緑をテーマに開催。花の苗や植木盆栽市、ダリア栽培教室などを行います
下旬～10月下旬 「秋田藩ぐるり市内観光バス」が運行(秋田駅発着)
24・25日 八橋天神祭(八橋・菅原神社)

5月

7・8日 古四王祭(寺内・古四王神社)
12・13日 地口絵灯ろう祭り(保戸野・勝平神社)
中旬～下旬 千秋公園・太平つつじ園などでつつじが見ごろ
25・26日 山王祭(新屋・日吉神社)



夏

6月

第1日曜日 へそまつり(河辺・岩見三内)



お腹に絵を描いての「へそおどり」がとってもユニーク!

第2日曜日 鹿嶋祭(新屋・日吉神社)
太平山山開き
中旬 秋田藩のふき刈り(仁井田)
下旬(予定) ヤートセ秋田祭(大町・通町予定)
下旬 県立小泉湯公園(金足)で花菖蒲が見ごろ
27・28日 新波神社(雄和)の祭典

7月

上旬 岩見川(河辺)でアユ釣りが解禁
上旬～8月上旬 下浜・桂浜・浜田の各海水浴場で海開き
第2土・日曜日 三皇祭(牛島・三皇熊野神社)
20・21日 土崎港曳山まつり
第3日曜日 秋田長持唄全国大会(雄和)
第4日曜日 雄物川筏下り大会

8月

3～6日 竿燈まつり
10日 秋田市夏まつり雄物川花火大会
15日 岩見川清流まつり(河辺・岩見)
中旬 大正寺おけさまつり(雄和・大正寺)
お盆ごろ 羽川剣ばやし(下浜)、黒川番楽(金足)などの伝統芸能がとり行われます
16・17日 天徳寺(泉)の寺宝を虫干しをかねて公開
17・18日 作踊り(河辺・和田)
下旬 太平山リゾート公園夏まつり
28日 戸島神明社(河辺)梵天奉納

大正寺おけさまつり...約500mの商店街を400人以上の踊り手が踊り歩く「総おどり」は見もの。

河辺・雄和区域の行政窓口



河辺町役場 河辺市民センター



雄和町役場 雄和市民センター

旧役場は市民センターに

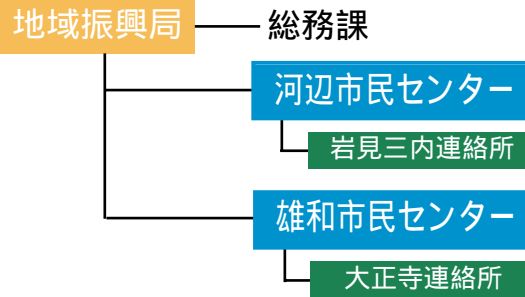
新たに河辺・雄和地域の振興を担当する地域振興局を設置します。合併前の役場・支所は、河辺・雄和地域の身近な行政窓口となります。



岩見三内支所 岩見三内連絡所



大正寺支所 大正寺連絡所



河辺・雄和市民センターで取り扱うおもな事務

- 総務班**
 - 総務担当 河辺tel(882)5221 雄和tel(886)5511
総合案内 市民相談パトロール 災害対応など
 - 管財担当 河辺tel(882)5222 雄和tel(886)5535
行政財産の管理・調整
- 税務班**
 - 賦課担当 河辺tel(882)5171 雄和tel(886)5540
市税の賦課(国保税を除く) 固定資産の評価 所得・固定資産等の証明書交付など
 - 納税担当 河辺tel(882)5174 雄和tel(886)5595
市税の徴収・督促(国保税を除く)など
- 市民生活班**
 - 住民担当 河辺tel(882)5131 雄和tel(886)5523
戸籍 住民票 印鑑証明 児童手当 国民健康保険 国民年金など
 - 生活環境担当 河辺tel(882)5132 雄和tel(886)5520
地域自治活動の推進 ごみ収集・資源回収 墓地・斎場 公害の苦情など
- 福祉保健班**
 - 福祉担当 河辺tel(882)5151 雄和tel(886)5525
高齢者・身体障害者・知的障害者福祉 介護保険 保育所など
 - 保健担当 河辺(総合福祉交流センター)tel(881)1201 雄和tel(886)5530
母子保健 母子健康手帳交付 老人保健 予防接種 栄養指導など
- 産業班**
 - 農林担当 河辺tel(882)5161 雄和tel(886)5550
稲作等の振興 民・市有林 農業委員会の諸証明 農地保全・利用関係のあっせんなど
 - 商工担当 河辺tel(882)5162 雄和tel(886)5565
商工業・観光の振興 中小企業・商店街の育成指導 設備投資資金等の融資など
- 建設班**
 - 建設管理担当 河辺tel(882)5241 雄和tel(886)5545
河川・水路・交通安全施設 都市計画の諸証明など
 - 維持担当 河辺tel(882)5242 雄和tel(886)5570
道路・橋・街路樹・公園緑地の維持管理 除雪 空地美化 アメシロ防除など
- 上下水道班**
 - 水道担当 河辺tel(882)5251 雄和tel(886)5555
使用水量の計量 水道料金の徴収 水道の中止・開閉栓など
 - 下水道担当 河辺tel(882)5252 雄和tel(886)5580
下水道使用料・受益者負担金の徴収 下水道管・ポンプ場の維持管理など

岩見三内・大正寺
連絡所で取り扱う
おもな事務

岩見三内tel(883)2111 大正寺tel(887)2111

戸籍 住民票 印鑑証明 児童手当 健康手帳・母子健康手帳の交付
国民健康保険 国民年金 福祉医療費受給者証の交付 税の収納
介護保険申請の取り次ぎ 税の証明書交付の取り次ぎ 斎場の使用など



河辺・雄和区域の皆さまへ

住所はこうなります

問い合わせ

河辺市民センターtel(882)5131
雄和市民センターtel(886)5523

秋田市と河辺町、雄和町の合併にともない、1月11日から河辺、雄和区域の住所が変わります。

新しい住所の表示は、これまでの^{おおあさ}大字の前に、河辺区域は「河辺」、雄和区域は「雄和」の文字を加えた名称となります。小字^{こあさ}の名称、地番は、これまでと変わりません。本籍の表示についても、住所の表示と同じように変わります。

変更例

河辺

(旧) 河辺町 和田 字北条ヶ崎38番地 2
(新) 秋田市 河辺和田 字北条ヶ崎38番地 2

雄和

(旧) 雄和町 妙法 字上大部48番地 1
(新) 秋田市 雄和妙法 字上大部48番地 1

河辺・雄和住民の声を市政に反映 地域審議会を設置

合併後も、河辺区域、雄和区域の住民の声を新市の行政運営に反映させ、きめ細かな行政サービスの展開をはかるため、「河辺地域審議会」「雄和地域審議会」を設置します。この審議会は、各区域内に住所を有する者のうち、公共的団体などを代表する者、学識経験者、公募で選ばれた市民など20人以内で構成されます。

おおむね10年間設置され、それぞれの所管区域に関する下記の内容について審議し、市に地域の意見を述べるのが役割です。また、会議は原則的に公開で行われます。1回目の審議会は2月中旬を予定しています。

おもな審議内容

緑あふれる新県都プランの執行状況
公共施設の設置や管理運営
予算編成・予算執行に関する要望
地域住民からの要望
地域独自の事務事業 など

問い合わせ 地域振興局総務課tel(866)2785

市民の情報源

広報あきたは 毎月1日・16日に発行

市の広報紙「広報あきた」は毎月1日と16日の2回発行します。1月は合併記念号発行のため、1月11日号のみの発行となります。

今号から河辺・雄和地域のみなさんにもお届けしています。発行日を過ぎても広報が届かない場合は、お手数ですが広報課までご連絡ください。

市政テレビ・ラジオ番組

秋田市では、市政の動きや行事、催し物などの情報をテレビ・ラジオ番組でもお伝えしています。番組の放送日程は、広報あきたでお知らせします。18ページをご覧ください。

問い合わせ 広報課tel(866)2034
ファクス(866)2287



市議会議員増員選挙の立候補予定者説明会

1月14日(金)午後2時30分～(2時から受付)
御所野の秋田テルサ第1会議室

合併前の河辺町、雄和町をそれぞれ選挙区とする市議会議員増員選挙の立候補予定者を対象に説明会を開催します。立候補の届出に必要な手続き、選挙運動費用の公費負担制度などについて説明します。

問い合わせ 市選挙管理委員会事務局tel(866)2260

選挙の区域と定数

河辺選挙区 定数2人
雄和選挙区 定数2人

立候補できるかた

秋田市、河辺町、雄和町に住所を有するかたは、河辺、雄和、いずれかの選挙区から立候補できますが、年齢25歳以上などの要件があります。

みんなで文化財を守りましょう!



防災訓練の様子(天徳寺)

1月26日(水)は文化財防火デー

秋田市には、貴重な文化財がたくさんあります。市民の財産である文化財を火災・地震などの災害からみんなで守り、後世に受け継いでいきましょう。

文化振興室
tel(866)2246

新たに事業を始める起業家の卵や、新しい事業展開を考えているかたを支援する「チャレンジオフィスあきた(COA)」。第3期募集により新しくこの2社が入居しました。

問い合わせ
工業労政課
tel(866)2114

チャレンジオフィス

あきた 第3期入居

起業の芽がふたつ



(有)住まい工房 S
tel(816)0677
建築設計業

「お年寄りや障害者のかたが心地よいと感じる家、介護する人・される人の両方が快適に暮らせる家、そんな“あったかい”家を、インテリアも含めたトータルな視点で提案。女性ならではの、きめ細かな設計を心がけています」...土田鐘子さん



秋田活性化株式会社 DO
tel(857)4500
インターネットショップの運営など

「昨年3月に東京・銀座でオープンした『AKITA DINING なまはげ』では、おいしいお酒と食材で秋田をPR! 今は秋田の特産品を扱うネットショップ“秋田天国”を展開中です。秋田ファンを増やして、秋田をもっともっと元気にしたいんです」...日景賢悟さん

確定申告の問い合わせ

秋田南税務署tel(833)5264
秋田北税務署tel(845)1753

平成16年分の確定申告

税務署 からの お知らせ

所得税 2月16日(水)〜3月15日(火)
贈与税 2月1日(火)〜3月15日(火)
消費税(個人事業者) 3月31日(木)まで

申告と納税は期限内に

土・日・祝日は、窓口で申告書を受け付けていませんが、郵送または税務署の時間外收受箱に投函することにより、申告書を提出できます。

秋田南税務署の「申告センター」では、申告期間中、平日のほか、2月20日・27日の日曜日に限り、秋田南・北税務署合同で申告の相談と申告書の受け付けを行います。

申告書の提出や納税が期限を過ぎると、加算税や延滞税がかかる場合がありますので、申告と納税は期限内にお願いします。

申告書は自分で作成し、郵送で

「確定申告の手引き」などを参考に、申告書などはご自分で記載し、郵送などで早めに提出をお願いします。仙台国税局ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で所得税の申告書が作成できます。申告書はカラープリンタで印刷し、必要書類と一緒に郵送などで提出してください。
<http://www.sendai.nta.go.jp/>

所得税の還付申告のかたは、2月15日(火)前でも申告書を提出できます。納税は便利で安心な口座振替をご利用ください。

確定申告の相談は

「申告センター」でどうぞ

秋田南・北税務署では、左記の「申告センター」を開設し、申告の相談を行います。税務署内には相談会場を設置していませんので、申告の相談は「申告センター」をご利用ください。

「申告センター」では、確定申告書の受け付けや確定申告書用紙の配布も行っています。

秋田南税務署申告センター

会場 秋田県労働会館「フォーラムアキタ」(中通六丁目7-36) : 会場には駐車場がありませんので、公共交通機関などをご利用ください。
期間 1月24日(月)から3月15日(火)までの平日。受付時間は午前9時〜正午、午後1時〜4時

秋田北税務署申告センター

会場 セリオン2階イベントホール
期間 1月27日(木)から3月15日(火)までの平日。受付時間は午前9時〜11時、午後1時〜4時





雄和中央保育所

ほのぼの育児教室

生後6か月までのお子さんがいる母親や保護者が対象です。子育てについて、小児科医師の講話や参加者同士の情報交換など。託児あり。先着30組。

とき / 1月26日(水)午後1時20分～3時30分 ところ / 市保健センター
申し込み 1月12日(水)から市保健所保健予防課tel(883)1174

市保健所の離乳食教室

筆記用具、母子健康手帳、おしぼりを持って、お子さんと直接会場の秋田市保健センターへどうぞ。受講無料。市保健所保健予防課栄養指導担当tel(883)1175

初期離乳食(生後4～5か月)

1月24日(月)午前10時～11時30分。お子さんの月齢にあった離乳食の進め方、食品の調理法、試食。栄養士や保健師による個別指導もあります

後期離乳食(生後8～10か月)

1月31日(月)午前10時～11時30分と午後1時30分～3時の2回。お子さんの月齢にあった離乳食の進め方、食品の調理法、試食、歯のお手入れ。栄養士、保健師、歯科衛生士による個別指導もあります

子ども未来センターの催し

就園前のお子さんご家族が対象です。参加無料。直接会場へどうぞ。詳しくは子ども未来センターへ。tel(887)5340

パンダ広場 1月26日(水)午前10時～11時、茨島体育館で

親子のふれあい広場 午前10時からアルヴェ5階の子ども未来センターで。利用は月1回です。

よちよち広場(0～1歳児対象) = 2月3日(木)・17日(木)

ぴょんぴょん広場(2～3歳児対象) = 2月10日(木)・24日(木)

乳幼児 ツベルクリン 反応検査 BCG接種



4月からBCG接種の対象年齢が「生後6か月未満」となり、生後6か月を過ぎた場合は、任意接種(有料)となります。

4歳未満で未接種のかた、特に3月末で生後6か月以上になるかたは忘れずに受けてください。

結核予防のために受けましょう。初めにツベルクリン反応検査を行い、2日後に判定して、陰性の場合BCGを1回接種します。

おさんは、保護者が健康状態を知っているかたがお連れください。できるだけ生後3か月から受けましょう。

対象 48か月までのお子さん **時間** 午後1時30分～2時15分

用意する物

母子健康手帳と予診票

- ・母子健康手帳別冊折り込みの白色(ツベルクリン)、青色(BCG)の予診票は記入して別冊から切り離してお持ちください
- ・予診票がないかたは会場で記入できます
- ・「予防接種と子どもの健康」の冊子をお持ちのかたは読んでからおいでください。

ツベルクリンを受けられないお子さん

熱がある 重篤な急性疾患にかかっている まん延性の皮膚病にかかっている 麻しんにかかり、治ってから4週間を経過していない

ツベルクリン反応検査においてツベルクリン反応が水ほうなどの強い反応を示したことがある 副じん皮質ホルモン剤の内服・注射をしている

BCG接種を受けられないお子さん

熱がある 重篤な急性疾患にかかっている 他の予防接種、外傷によるケロイドができやすい その他、医師が不適当な状態と判断したとき

次に該当するお子さんは主治医とよくご相談ください

心臓疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、発育障害などで治療や指導を受けている 前回の予防接種で2日以内に発熱、全身に発疹などのアレルギーとみられる症状があった けいれんを起こしたことがある 免疫状態を検査して異常を指摘されたことがある

他の予防接種との間隔

三種混合、二種混合、日本脳炎、インフルエンザ、B型肝炎(HBワクチン)を受けたおさんは1週間以上 ポリオ、麻しん、風しん、おたふくかぜ、水痘を受けたおさんは4週間以上 BCG接種後4週間は他の予防接種は不可

実施日程

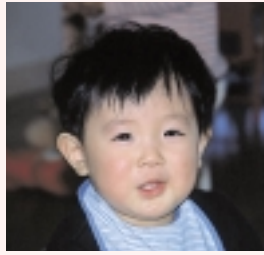
会場	ツベルクリン	BCG	対象地区
市保健センター	2月14日(月)	2月16日(水)	新屋、八橋、寺内、保戸野、中通、南通、榎山、牛島、旭南、旭北、広面、千秋、手形、手形山、泉、旭川、新藤田、柳田、濁川、添川、浜田、豊岩、下浜
秋田市保健所 1階会議室	2月15日(火)	2月17日(木)	高陽、大町、川元、川尻、東通、横森、山王、茨島、卸町、大住、仁井田、桜、桜が丘、桜台、御野場、御所野、四ツ小屋、大平台、山手台、太平、下北手、上北手
	2階会議室	2月22日(火)	2月24日(木)
土崎支所	2月15日(火)	2月17日(木)	寺内、土崎港、港北、外旭川、將軍野、飯島、下新城、上新城、金足
河辺総合福祉交流センター	2月21日(月)	2月23日(水)	河辺、雄和

各会場(河辺・雄和地区を除く)とも駐車場が狭いので、自家用車での来場はご遠慮ください。

会場のスペースに合わせて地区割りをしていますので、指定日に接種するようお願いいたします。ただし、平成16年11月生まれのおさんは、できるだけ3か月に近い会場へおいでください。

問い合わせ 健康管理課予防接種担当tel(883)1179

育児



岩見三内保育所

乳幼児健康診査

個人通知はしませんので、母子健康手帳別冊をよく読んで受診しましょう。別冊をまだお持ちでないかたは、市民課、土崎支所、新屋支所、市民サービスセンター(アルヴェ1階)へどうぞ。市保健所保健予防課tel(883)1172

4・7・10か月児健康診査

4・7・10か月になった日から1か月以内のお子さんを対象に、母子健康手帳別冊に記載されている市内の委託医療機関(ひがし稲庭クリニックを除く)で行っています。

1歳6か月児・3歳児健診会場にアルヴェを追加

昨年10月から、1歳6か月児と3歳児健診の会場の地区割り下記のとおり変わっています。

なお、東部と南部の会場となるアルヴェ周辺には無料駐車場がありませんので、公共交通機関などをご利用ください。

地区	該当地域
中央	山王、保戸野、八橋、川尻、川元、旭南、旭北、中通、大町、南通、泉、高陽、寺内、千秋
東部	手形、手形山、旭川、新藤田、濁川、仁別、山内、蛇野、添川、柳田、下北手、太平、横森、桜、桜方丘、桜台、大平台、広面、東通
南部①	御所野、上北手、山手台
北部	土崎、將軍野、飯島、港北、外旭川、金足、上新城、下新城
南部②	榑山、牛島、卸町、大住、仁井田、四ツ小屋、御野場
西部	新屋、勝平、茨島、豊岩、下浜、浜田、向浜

1歳6か月児健康診査

平成15年7月生まれのお子さんが対象です。初日は混雑しますので、地区割りを確認して対象となる日に直接会場へどうぞ。都合が悪く、受診できないかたはご連絡ください。

また、2歳未満のお子さんまで受診できますので、まだ受けていないかたもご連絡ください。当日は、母子健康手帳と別冊、バスタオルをお持ちください。受付時間は午後零時45分～1時30分。

中央地区 2月3日(木)、市保健センター 東部・南部 (左表参照)地区 2月4日(金)、アルヴェ2階多目的ホール 北部地区 2月8日(火)、土崎支所 南部 (左表参照)・西部地区 2月10日(木)、市保健センター

3歳児健康診査

平成13年8月生まれのお子さんが対象です。初日は混雑しますので、地区割りを確認して対象となる日に直接会場へどうぞ。都合が悪く、受診できないかたはご連絡ください。

また、4歳未満のお子さんまで受診できますので、まだ受けていないかたもご連絡ください。当日は、母子健康手帳別冊にある3歳児健康診査用アンケートと尿検査セット(尿を容器に採って)、母子健康手帳をお持ちください。受付時間は午後零時45分～1時30分。

中央地区 2月15日(火)、市保健センター 東部・南部 (左表参照)地区 2月17日(木)、アルヴェ2階多目的ホール 南部 (左表参照)・西部地区 2月22日(火)、市保健センター 北部地区 2月24日(木)、土崎公民館

2歳児歯科健康診査

2歳になった日から、2歳2か月になる前日までのお子さんを対象に、母子健康手帳別冊に書かれている市内の委託医療機関で行っています(ただし、次の医療機関を除く...JAビルの小澤歯科医院、泉南デンタルクリニック、工藤歯科

医院、アキタデンタルクリニック、歯科大町クリニック)。

個人通知はしませんので、母子健康手帳別冊をよく読んで受診しましょう。

河辺・雄和の乳幼児健診

3月までは制度移行期間となりますので、旧両町の制度でこれまでどおり実施します。詳しくは12月に郵送した個別通知をご覧ください。問い合わせは市保健所保健予防課へ。tel(883)1172

河辺地区 = 会場は河辺総合福祉交流センター。受付時間は午後零時30分～1時。

4か月児(平成16年10月生)、7か月児(平成16年7月生)、10か月児(平成16年4月生) 2月25日(金)
3歳児(平成13年6・7・8月生) 2月16日(水)

2歳児歯科(平成14年9・10・11・12月生) 2月9日(水)

雄和地区 = 会場は雄和公民館。受付時間は午後零時30分～1時。

4か月児(平成16年9月16日～10月15日生)、7か月児(平成16年6月16日～7月15日生)、10か月児(平成16年3月16日～4月15日生) 2月16日(水)

1歳6か月児(平成15年7・8月生) 2月3日(木)

3歳児(平成13年7・8・9月生) 2月8日(火)

妊産婦・新生児訪問

妊婦さんと生後28日以内のお子さんのいるご家庭に助産師がうかがい、相談に応じます。

妊婦さんは電話で申し込んでください。お母さんになられたかたは、母子健康手帳に入っている出生連絡票を郵送してください。

問い合わせ 市保健所保健予防課tel(883)1174



2007秋田わか杉国体まで
あと**991日**

市民文芸大会の 作品募集



申し込み

短歌、俳句、川柳の各部門(未発表に限る)。
1部門1作品で、複数の部門に応募できます。
出詠料1作品につき500円は小為替または書留で。大会は3月13日(日)、文化会館。

1月31日(月)まで、200字詰め原稿用紙に部門、作品、雅号(ふりがな)、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢、職業(勤務先)を書いて、出詠料同封のうえ、〒010-0951 秋田市山王七丁目3-1 (社)秋田市文化団体連盟事務局tel(866)4026

と個別相談。呼気一酸化炭素濃度も測定できます。参加無料。

とき / 2月19日(土)午後1時30分~3時30分 ところ / 市保健所

申し込み 1月12日(水)から市保健所保健予防課tel(883)1176



案内

巨大雪だるまチャレンジ大会

東部地区の子ども会のお子さん対象です。1チーム5人が、制限時間40分以内で、道具を使わずに雪だるまを作ります。参加無料。申し込みは1月21日(金)まで東部公民館窓口へ。tel(834)2206

とき / 1月30日(日)午前9時~11時 ところ / 東部公民館隣の広場

トーチラン秋田 参加者募集

2月26日(土)~3月5日(土)、長野市を中心に開催されるスペシャルオリンピックス冬季世界大会のトーチラン(聖火リレー)が秋田市で行われます。このトーチランナー(知的障害のあるかた)、伴走者、随走者、運営ボランティアを募集します。伴走者と随走者には1,000円の参加協力費をお願いします。

とき / 2月13日(日)午前10時~ と

ころ / 秋田駅周辺から県庁(予定)

定員 / ランナーは先着30人

申し込み 1月11日(火)から25日(火)まで秋田県障害者スポーツ協会
電話・ファクス(864)2750

秋田のピカ いち決定戦

さまざまなアイデアや工夫を凝らして、地域の賑わい創出や活性化に頑張っている、地域づくり団体の発表会です。入場無料。

とき / 1月29日(土)午後1時25分
ところ / 遊学舎

申し込み 秋田県商工会議所連合会内事務局tel(866)6670

ふるさと就職促進セミナー

平成18年3月卒業予定の大学・短大・高専・専修学校の学生が対象です。今春3月卒業予定の学生、既卒者を対象とした就職面談会も。

とき / 2月2日(水)午後1時~5時
ところ / 秋田ビューホテル

問い合わせ 県雇用対策室若年者支援班tel(860)2334

おもと高齢者大学会員募集

60歳以上のかたが対象です。時事、文化、健康を学びます。年会費3,000円、入会金1,000円。

とき / 毎月第1・第3火曜日の午後1時30分~3時 ところ / サンパル

秋田 定員 / 先着10人程度

申し込み はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号を書いて、〒010-0921 秋田市大町二丁目3-27中央公民館内おもと高齢者大学係

tel(864)8127

食生活相談

肥満、高血圧、糖尿病などのかたの食事について、栄養士が相談に応じます。電話などで予約が必要です。とき / 2月15日(火)午前10時~午後2時30分 ところ / 市保健センター

申し込み 市保健所保健予防課

tel(883)1175

女性相談・法律相談会

女性が抱えるさまざまな相談に応じます。1月20日(木)、秋田県女性相談所(秋田市手形住吉町4-26)で。法律相談は事前に申し込みが必要です。tel(835)9052

女性相談 = 午前10時~午後3時

法律相談 = 午後1時30分~3時30分。定員4人

赤れんが郷土館が臨時休館

作品入れ替えのため、1月24日(月)から28日(金)まで臨時休館します。

問い合わせ 赤れんが郷土館

tel(864)6851

詳しい放送日程は
広報課へどうぞ
tel(866)2034



5分間テレビ番組

AAB おはよう秋田市から

月~金 午前10時55分~

ABS こんにちは秋田市から

月~金 午後3時50分~

土 午後3時55分~

AKT こんばんは秋田市から

水 午後10時54分~

15分

1/30(日)7:30~ ABSおはよう秋田市長です「祝合併! 新県都秋田市始動!」

1/12(水) 1/18(火)

勝平版画コレクションの全て~赤れんが郷土館
広面ホール会の活動

1/19(水) 1/25(火)

祝! 新秋田市誕生
~合併記念式典から
技能功労・優秀技能者の紹介
千秋美術館企画展



エフエム秋田 秋田市マンデー555

毎週月 午後5時54分~

ABSラジオ 秋田市今週のいちネタ

毎週火 午前10時30分~

エフエム秋田 ふれあい情報

月~土 午前10時55分~

秋田コミュニティ放送 市長と一緒

毎週火 午前8時15分~

オーパススキー場へどうぞ
水道の凍結にご注意を

情報チャンネルa

春をよぶ丸い大きな輪ができた ヒサト



講座

ゆめ体験教室

小中学生が対象です。公民館サークルを体験しませんか。漢詩、和歌、童謡吟、俳句など。先着20人。
とき / 2月5日(土)午前9時30分～11時30分 ところ / 土崎公民館

申し込み 土崎公民館
tel(846)1133 FAX(846)1134

初心者ミニテニス教室

参加料100円。先着20人。
とき / 1月22日(土)から2月19日(土)までの毎週土曜日に5回、午後1時30分～3時30分 ところ / 南部公民館

申し込み 南部公民館
tel(832)2457

気分爽快“健美操”

無理なく手軽にできる健康体操。受講無料。先着25人。
とき / 1月27日(木)から2月24日(木)まで毎週木曜日に5回、午後7時～9時 ところ / 八橋地区コミュニティセンター

申し込み 1月17日(月)から中央公民館tel(824)5377

熟年のためのフォークダンスとゲーム

冬場の運動不足とストレス解消！
とき / 1月24日(月)・31日(月)、2月10日(木)午後1時30分～3時30分 ところ / 土崎公民館

申し込み 土崎公民館
tel(846)1133

女性学習センターの講座

学生は除きます。会場はサンパル秋田。申し込みは女性学習センターへ。tel(824)7764

スピードクッキング教室

1月26日(水)、2月23日(水)、3月16日(水)の3回、午後6時30分～8時30分。冬野菜、根菜、乾物などを使った料理。材料費2,400円。先着20人。申し込みは1月12日(水)午前9時から

仕事帰りのリラクゼーション講座

受講無料。先着各20人。申し込みは、1月13日(木)午前9時から。

ストレッチ&リズムダンスコース = 1月25日(火)から2月15日(火)までの毎週火曜日に4回、午後6時45分～8時 気功コース = 2月3日(木)から24日(木)までの毎週木曜日に4回、午後6時30分～8時

御所野ふれあいセンターの講座

会場は御所野ふれあい(交流)センター。申し込みは同センターへ。

tel(826)0671

おしゃれなベスト作り(手編み)

1月21日(金)から3月18日(金)までの金曜日に8回、午前10時～正午。受講料3,500円。定員15人

パソコン教室(ワード、エクセルの基礎) 1月28日(金)から3月22日(火)までの火・金曜日に15回、午後1時30分～3時30分。受講料7,500円。定員12人

かんたん手作り! アクセサリー

30歳代までのかたが対象です。リング、ペンダントなどのシルバーアクセサリー作り。先着14人。

とき / 2月17日(木)から3月17日(木)までの毎週木曜日に5回、午後6時30分～8時 ところ / サンパル秋田 参加費 / 1,500円

申し込み 1月12日(水)午前9時から秋田市勤労青少年ホーム

tel(824)5378

バレンタインチョコ手作り講座

参加料1,700円。先着24人。
とき / 2月2日(水)午前10時～午後零時30分 ところ / 秋田テルサ

申し込み 1月12日(水)午前10時から秋田テルサtel(826)1800

佐竹本三十六歌仙を読む

講師は秋田大学名誉教授の佐々木久春さん。参加無料。先着50人。

とき / 1月21日(金)・28日(金)、2月4日(金)の3回、午後1時～3時

ところ / 中央図書館明徳館
申し込み 1月12日(水)午前9時から明徳館tel(832)9220

楽しく学ぶ話術学

コミュニケーションをはかりながら、話し方の術を学びます。

とき / 2月10日(木)・17日(木)・24日(木)の3回、午前10時～正午 ところ / 東部公民館 定員 / 20人

申し込み 1月13日(木)午前8時30分から東部公民館tel(834)2206

心と体のリラクゼーション

家庭でできるフットセラピー(足つぼ刺激)とアロマセラピーを学び、風邪予防のエアフレッシュナーを作ります。材料費500円。託児あり。

とき / 1月21日(金)・28日(金)、2月4日(金)午前10時～11時30分 ところ / 西部公民館 定員 / 20人

申し込み 1月11日(火)午前9時から西部公民館tel(828)4217

自立訓練法の時間

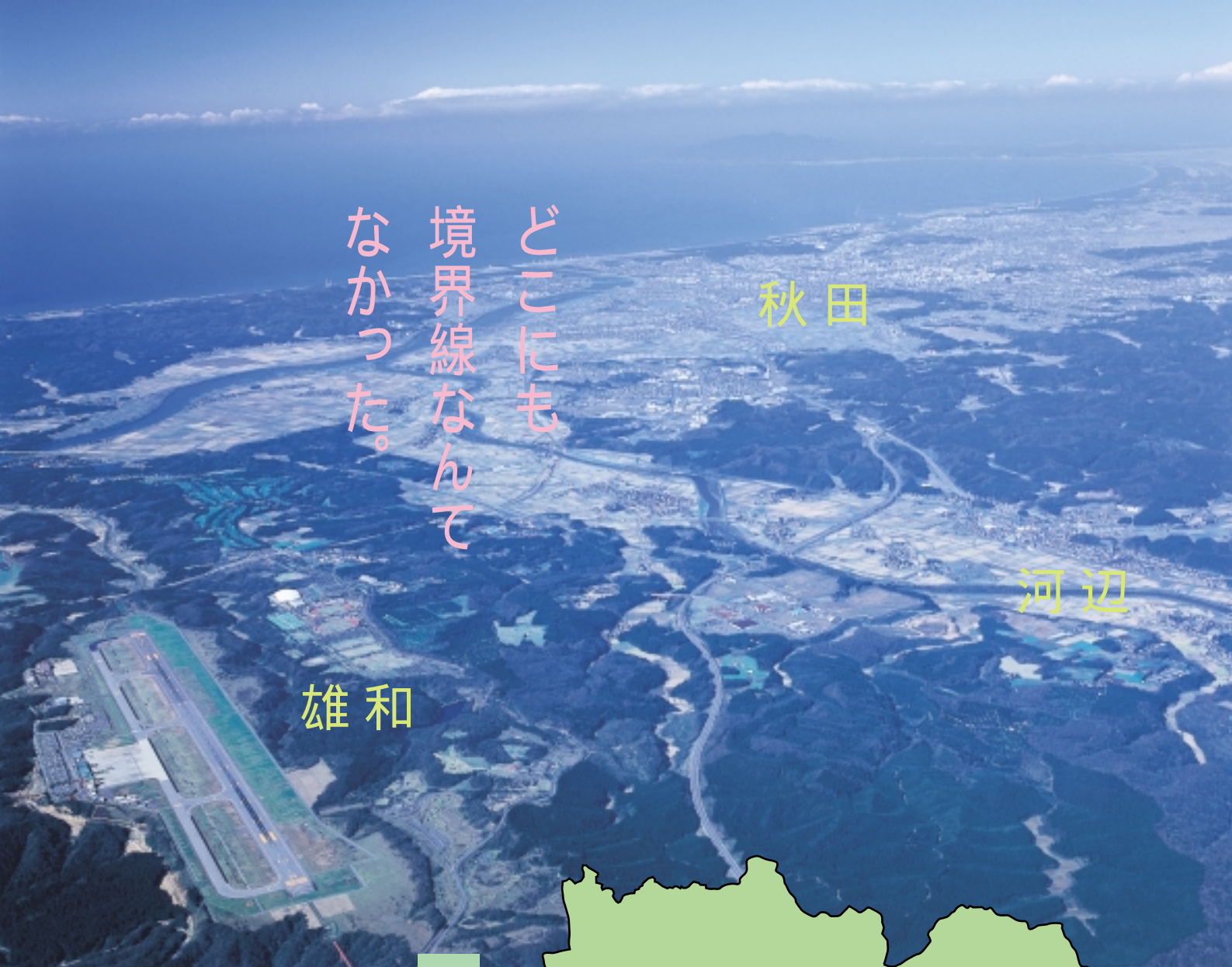
臨床心理士による自立訓練法に関する講話と実技。参加無料。

とき / 1月31日(月)、2月7日(月)午前10時～正午 ところ / 秋田市保健所

申し込み 市保健所健康管理課精神保健担当tel(883)1180

たばことサヨナラしませんか

あなたの禁煙をサポートします。禁煙に関心があるかた、禁煙を希望しているかたが対象です。医師の講話「禁煙のためのとっておきの秘訣」

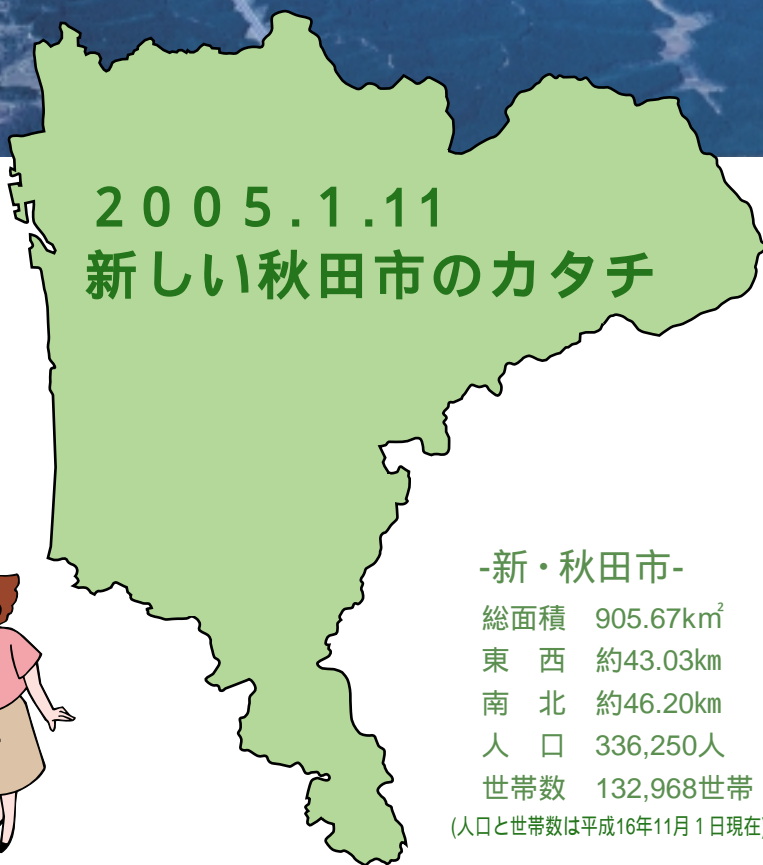


どこにも
境界線なんて
なかった。

秋田

河辺

雄和



2005.1.11
新しい秋田市のカタチ

-新・秋田市-

総面積 905.67km²
東西 約43.03km
南北 約46.20km
人口 336,250人
世帯数 132,968世帯
(人口と世帯数は平成16年11月1日現在)

空から見れば
よくわかる。
どこにも
境界線なんてなかった。
あきた、かわべ、ゆうわ、
みつつのまちが
ひとつになった。

